

三島 水辺環境保全へ学生交え植栽

三島市の境川・清住緑地で25日、学生らが景観用草花を植栽する環境保全活動を行った。



同緑地は市街地にありながら富士山からの湧水があり、貴重な水辺環境を残す。地元住民による愛護会が管理し、年に4回ほど整備を手掛ける。

この日は高齢化が進む愛護会の負担を考慮し、NPO法人グラウンドワーク三島が実施した。学生は同法人の渡辺豊博専務理事の指導を受ける都留文科大の女子学生8人。夏場で伸び

放題になった草を刈り、ノハナショウブやアヤマメ、ガクアジサイなど在来の植物を植えた＝写真＝。

23日から4日間の日程で行うゼミ活動。源兵衛川などでも同様の取り組みを実施した。